

パブリックコメント実施結果報告書

平成27年2月24日

担当課	企画課
担当者	澤米
連絡先	0857-26-7251

テークマ： 「鳥取県の将来ビジョン（追補版）」（案）に対する意見募集

①<手段別意見応募件数>

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等へ	その他の方法	計
6(2)	-	6(6)	-	1(1)	13(9)

②<応募意見の政策案等への反映状況>

対応状況	件数	主な意見
反映した（一部のみ反映したものも含む）	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移住定住の推進策は、県内で結婚、子育て、高校までの進学、就職などをトータルで支援する枠組みを充実させるべき。中山間地でも安心して子育て、進学できるよう、特に高校までの若い世代に投資、支援できる枠組みを県として示すべき。 ○ 企業家という夢を最短で叶えてくれる場所、伝統芸能・職人を育てる場所が他県では無くこの鳥取県にすべき。活力ある街を作るには活力ある人間が必要。 ○ 唱歌ふるさとを全国レベルの交流へ繋げ、文化振興・交流推進を図るべき。 ○ ダンスは楽しさや喜びを味わうことのできる運動。健康維持、鬱防止の為、明るい曲でリズムに乗って踊ることを年齢に関わらず日常的に行うことを推奨する。
既に盛り込み済み	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本一の英語普及県を目指す取組を希望。 (商流を拡大できる人材の育成、観光事業の強化、意見を発しない県民性の改革等の目的) ○ 大学等との連携により県産食材の機能性研究や高付加価値化、産官学連携による栽培漁業の商業化、県産食材を盛り込んだ郷土料理の開発により「食のみやこ鳥取県」の推進すべき。
今後の検討課題	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ようこそようこそ鳥取県」を「きなんせ、すみなんせ鳥取県」へ変更すべき。また、京都と旅行商品を開発して外国人客を誘客するなど、観光を推進すべき。
対応できない		
その他（施策の体系外の意見等）	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島根県への併合による県職員数の削減、外郭団体への出資・天下りのは正、職員給与の地域給与水準への抑制により、経費削減してはどうか。 ○ 意見募集といいながら、不利・不必要な意見は排除して結果に掲載されていない。 ○ 将来ビジョンの全てが抽象的。 ○ 県立美術館は鳥取城跡に建設すべき。 ○ 第三者による誘致認定審査会設置など、企業誘致の認定審査制度を導入すべき。 ○ 県の魅力と県産品のアウトプットのため、学生への来県費用及びソーシャルメディア等アウトプット手法の研修費に対する助成をしてはどうか。
計	13	

③<意見募集結果概要書を、1部添付してください。>

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネット	報道機関への資料提供	県議会への報告	県民課等での縦覧等	広報誌等への掲載	その他
○		○	○		